



## ■小・中学校連携研究会を開催しました！

大崎町では、町内の小中学校の教職員が集まり、学力向上や中学校への進学等、小中学校の連携を図るために、授業参観や情報交換を行っています。

本年度も、6月15日(金)に菱田小学校で第1回大崎町小中連携研究会を開催しました。

まず、2・4・6年生の授業参観が行われました。6年生では、外国語科の授業が公開され、カードゲームをしながら英語で質問をするなど、楽しく授業に取り組む姿が見られました。大崎町では、小学校での外国語教育を充実させるために、ALT 1名と外国語学習支援員を2名を配置し、授業の充実を図っています。

授業参観後の分科会では、子どもたちの学びを深めるために各学校でどのような取り組みが必要か多くの意見が出され、今後の授業を進める上での研修を深めることができました。

これからも、学力向上や生徒指導等の充実を図るため、小中学校の更なる連携を進めていきます。

次回は、11月に大崎中学校での開催を予定しています。



【カードゲームを取り入れた外国語授業】



【全大会】

## まぶい窓おの庭 『スポーツを通して、人間性を磨こう』

No.50 尚志館高等学校 校長 井出元 隆一

教員生活がスタートし、今年で33回目の本格的な夏を迎えました。社会科の一員として教鞭をとる傍ら、サッカー部の顧問として部員達と多くの時間を共有してきました。自分では「兄貴的存在の優しい指導者」と思っていたのですが、OB達が言うには、「鬼以上に怖い存在」だったそうです。しかし、時を経て酒を酌み交わしながらそのことを語れるということは、教員としての大きな喜びの一つでもあります。

「日本サッカーの父」と称されるドイツ人のデットマール＝クラマー氏が招かれたのは、1964年東京五輪の頃です。当時の日本は「サッカー後進国」と揶揄されていました。日本人の気質を熟知していた彼は、技術面より精神面の指導を優先したそうです。要約すると、いかなる場面においても全力を尽くせ。仲間の選手以上に相手選手や審判員をリスペクト(尊敬)すること。ルールを順守し、サッカーを通して人間性を磨け。以上の3点です。そして東京五輪でベスト8、次のメキシコ五輪では銅メダル獲得の快挙に導きました。

国、地域、会社、家族にそれぞれのルールやモラルが存在します。これらを見做ると信用を失墜します。このことを教えるのが学校の、大人たちの役割であると考えます。

校長職2年目。社会に出る直近の高校生が責任ある大人として活躍できるように、本校職員と協力しながら指導していきます。私自身もスポーツを愛する1人として、どのような場面でも全力を尽くし、職務を全うしたいと考える日々であります。

